

*写真はイメージです



村では、村内での定住促進を図るため、下関地区（下関保育園グラウンド隣）に、家族世帯向け（5戸）の村営住宅「メゾン下関」を新しく整備します。

1・2期に整備したときと同じ方式です。今回は村内業者による施行で、構造はこれまでの軽量鉄骨造とは違い、木造2階建てです。第1・2期同様にメゾネットタイプ（上下階一体利用）で、各戸の居住面積は約90㎡です。

第3期工事に着手！

若者向け共同賃貸住宅「メゾン下関」



▲下関保育園グラウンド隣の建設地

全戸オール電化仕様を採用しており、駐車場（各戸2台分）、物置を完備します。10月7日に建築予定地で工事の安全を祈る新築工事地鎮祭が行われ、現在工事が進められています。完成は平成28年3月の予定です。

なお、入居者の募集は平成28年2月に開始し、4月以降、入居が可能となる見込みです。募集など詳細については、今後、広報せきかわなどでお知らせする予定です。

日本年金機構からのお知らせ

国民年金保険料の納め忘れがある方へ 平成27年10月から後納制度が変わりました

国民年金保険料は、翌月末日が納付期限です。そして納付期限から2年を過ぎると納めることができなくなり、将来の受け取る年金額が減額されます。

このようなときは、過去5年分の国民年金保険料を納めることができる後納制度をご利用ください。

- ・後納制度は、平成27年10月から3年間に限ります
- ・後納制度を利用するには申し込みが必要です
- ・保険料は、1ヶ月分から納付できます
- ・免除期間がある方は、10年までさかのぼれる追納制度をご利用ください

問い合わせ先

専用ナビダイヤル ☎0570-011-050
新発田年金事務所 国民年金課 ☎0254-23-2120

11月30日(いいみらい)は年金の日 自分の未来設計をはじめませんか？

これまでの年金記録をかんたん確認

自宅のパソコンやスマートフォンで、24時間いつでも最新の年金記録を確認することができます。

年金加入履歴や保険料納付額、年金見込額などを一覧形式で確認できます。

これからの年金見込額をかんたん確認

これからの人生設計に合わせた働き方の条件を設定して年金見込額を試算することができます。

試算結果は表やグラフでわかりやすく表示されます。

詳しくは、 [ねんきんネット](#) [検索](#)

問い合わせ先

専用ナビダイヤル ☎0570-058-555
新発田年金事務所 国民年金課 ☎0254-23-2120

学校からのお知らせ

今日は関川中学校からの紹介

創立10周年記念事業 大成功!!

当校は、女川中学校と関谷中学校が統合し、平成17年に開校しました。創立から11年目を迎えた今年度、創立10周年記念事業として「記念式典・記念講演会」の開催、「記念誌の発行」そして「記念祝賀会」を催しました。昨年度よりPTAを母体とした実行委員会を立ち上げ、伊藤守実行委員長を中心に事業を進めてきました。

10月24日(土)、文化祭の午後を記念式典として、平田大様(朝日酒造株式会社取締役研究開発部長、広島大学・新潟大学客員教授)を講師としてお迎えした記念講演会、引き続き生徒による合唱発表会・吹奏楽部演奏会といった内容で記念式典を行いました。

フィナーレでは、2部合唱に編成しなおした新しいヴァージョンの校歌を、休みを返上して参加していただいた卒業生27名、保護者有志とともに、生徒・職員総勢180名を超える合唱隊で歌いました。



この式典を通して、生徒・職員そして来校してくださった皆様それぞれが、「過去10年間の伝統の上に、現在があることを改めて自覚するとともに、10年後の学校像・自らの将来像を考える契機」になったことと思います。

文化祭の副題『～十周年の「新風」にのせて～』にあるように、新しい風を吹かせていきたいと考えています。



記念事業推進のためにご寄附いただいた皆様感謝申し上げますとともに、保護者・地域の皆さまには、今後も関川中学校に深いご協力、力強いご支援をいただきたいと思います。

再生可能エネルギーのお話 ③

先月はバイオオマス発電についてお知らせしましたが、今回は、その他の再生可能エネルギーについてお話しします。再生可能エネルギーの定義につきましては、第1回目にお話ししていますが、どのようなエネルギーがあるのでしょうか。

再生可能エネルギーには、これまで新エネルギー(新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法で「新エネルギー利用等」として規定されていて、石油代替エネルギーを製造、発生、利用すること等のうち、経済性の面での制約から普及が進展しておらず、かつ石油代替エネルギーの促進に寄与するもの)と呼ばれるものも含まれており、太陽光発電やバイオオマス発電のほかに、代表的なものに水力発電や風力発電、地熱発電、波力発電、海洋温度差熱発電などがあります。また、太陽熱やバイオオマス熱、雪氷熱の熱利用等も含まれています。

村では、平成15年に「地域新エネルギービジョン」を策定し、導入重点プロジェクトとして雪氷熱や温泉熱の利用、廃食油などの活用、太陽光発電やマイクロ水力発電の導入などが検討されてきました。実際に久保の村有地に雪を積み上げ、保温材で覆い、いつまでもつかを実験した経緯があります。

また、水力発電については、東北電力株式会社や荒川水力電気株式会社が村内3箇所でダムを建設し、大規模な発電事業を行っています。しかし、固定価格買取制度では、ダムのような大規模な施設を使用せず、河川や用水路などを利用して行う中小規模の水力発電(出力30000キロワット未満)からの電力買取りを対象としています。水力発電の特徴としては、昼夜、年間を通じて安定した発電が可能であり、発電するときには二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーであるということなどがあげられます。

次に風力発電ですが、風力発電は、風の力を利用した発電で、陸上発電と洋上発電があり、洋上発電には、着床式と浮体式があります。現在、胎内市において定格出力が2000キロワットの発電施設が陸上で稼働しています。また、村上市では、岩船沖洋上風力発電事業の計画が進んでいます。村上市の報道発表資料により、1基5000キロワットの風車を設置して発電を行う計画です。

粟島浦村では、政府が開発を推進する海洋再生可能エネルギーの実証実験が開始されており、新潟県の報道資料によりますと、昨年の10月には、低流速でも発電可能な浮体式潮流発電装置の実証実験が行われています。

このように、近隣の市村でも再生可能エネルギーの導入が進んでいます。